

【ご参考資料】

2015年7月24日



## 南アフリカの政策金利引き上げについて

### ポイント1 政策金利を5.75%から6.00%へ引き上げ

7月23日、南アフリカ準備銀行（中央銀行）は金融政策決定会合において、政策金利であるレポ金利を0.25%引き上げ、年率6.00%とすることを決定しました。

利上げは2014年7月以来、1年ぶりとなります。市場の過半は今回の利上げを予想していました。

### ポイント2 インフレリスクへの対応が目的

今回の利上げの目的には、インフレ圧力への対応があります。足元のインフレ率は3-6%の目標レンジ内にあるものの、同中銀は会合後の声明文において、リスク要因として、米利上げ観測などを背景とした通貨ランド安、食料品価格の値上がり、電力料金の引き上げなどを指摘しています。さらに同中銀は、2016年1-3月期のインフレ率が、同中銀のインフレ目標の上限を上回る+6.9%に達すると予測しています。

このような状況のもと、同国の経済は資源価格の下落や電力不足などを受けて減速懸念が高まっているものの、同中銀はインフレ圧力への対応を優先しました。

### ポイント3 追加利上げ観測がランドの下支え要因に

7月23日のニューヨーク外国為替市場では、対米ドル・対円とも前日比0.4%程度の南アフリカランド安となりました。

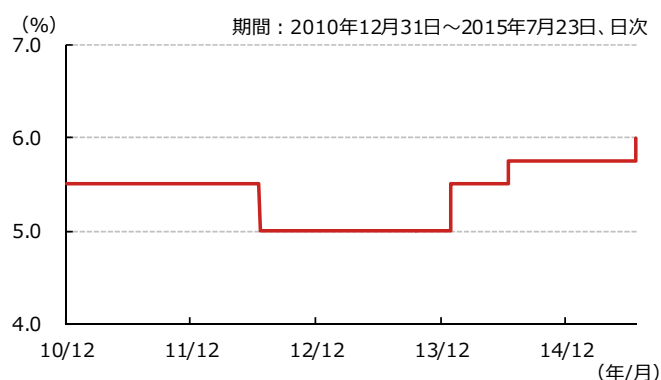
同中銀は、インフレ率の上振れリスクが引き続き存在するなか、利上げ局面は続くとの認識を示しています。足元では、米利上げ観測や経常赤字などが、ランドの対米ドルでの下落材料となるものの、追加利上げ観測はある程度ランドの下支え要因になるものとみられます。

### 重要イベント

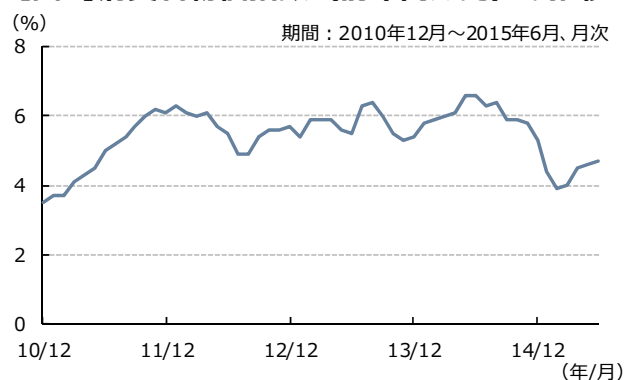
2015年7月31日	貿易収支
2015年8月19日	消費者物価指数
2015年9月21-23日	金融政策決定会合

重要イベントは現地時間で記載しています。

### 【図1】政策金利の推移



### 【図2】消費者物価指数（前年同期比）の推移



### 【図3】為替レートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成